

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	代表取締役 黒岩 尚文	法人・ 事業所 の特徴	①介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放し、霧島市地域のひろば事業への参加。②管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。霧島市まちかど介護相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。③毎朝の地域のゴミ拾い。④ライフサポートプランの導入。⑤霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。
事業所名	地域サポートセンター よいどこい	管理者	黒岩 尚文		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	1人	2人	3人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認		・どこに前年度の計画が書いてあるのかが、分かりにくかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・連携・協働などの項目は、職員には直接の関りは薄いと思うが、みんなで取り組んでいるのが分かる。 ・事業所の様子を普段から目にする機会が多いので、姿勢は分かる。職員が変わると、何があったのかと不安にある。スタッフの入退職の紹介を運営推進会議して貰えると良い。活動で邪魔になるかとは思いますが、名札を付けて貰えると職員の名前を呼べる、覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の名札着用に関しては、介助などでご利用者さまと接触する時に、怪我などの危険が考えられるので、玄関の目につく所に職員の写真と名前を一覧にして設置する。 ・職員の入替わりについて運営推進会議で、委員の方にはお知らせする。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・初期の関りで、その人の側にいることを大事にしているように感じる。 ・リビング内でとっさの時に動けるか心配。ただ、ご利用者が上手に考えて動いていることが良いと思う。 ・玄関アプローチがスロープになっているので、車の止め方によって車のドアが閉まってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が考え動き、またご利用者同士が譲り合ったり、感謝を感じて言葉にできる空間は大切にしていきながら、危険に対してこれまで以上に気を付けていく。座る位置の工夫や家具の位置の調整などは引き続き行う。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事参加に積極的である、そこが1番の事業所の力点になっている。 ・こういう事業所と地域の方に話すも知らない方はいる。100%知ってもらうのは無理だが、少しずつ広めるお手伝いをしている。いずれ、という方はいらっしゃるので案内を続けます。 ・機関紙を通し、事業所を知っている人が増えているが、どういう人が利用できるのかなどみんな分かり切っていない。機関紙を府中地区の回覧板に差し込んで貰えば、府中地区みんなが目 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流スペースの開放は行っているが、広くは知られていない。機関紙を回覧板に差し込んで頂くをお願いすることと、機関紙にどなたでも何にでも使ってもらえる交流スペースをアピールする。 ・他施設との交流は行っている。機関紙などに掲載して、地域の方々に分かって頂く努力を行う。

			<p>するのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流スペースの開放を行って欲しい。 ・他の事業所とは交流しているのか？ 	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・登録の利用者でなくても、一緒に支えてくれて心強かった。台風時の準備なども声かけてもらえ、今後もしてもらいたい。 ・相談、協力しやすい環境である。不安を抱えている人に対して、丁寧に対応して頂いている。 ・虐待事例の協力をいただいていることが有難い。 ・私自身の手が空いたので、忙しい時はお手伝いします。声をかけてください 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に自事業のお願いすることで、事業所に足を運んでもらえる機会となる。些細なことと自分たちで決めつけずに先ずはお願いをさせてもらう
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・その都度テーマを掲げ、前向きな取り組み、研修など私たち地域が考えていく内容だと思う。 ・よいどこいで過ごす人の検討をすることで、地域の方に支えて貰えることが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取り組みが分かるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、地域としての計画が立たないのは申し訳ない。府中は安心安全なエリアと思う。単純に避難場所が公民館とあるが、高齢者がこの高さを登るのは無理だと思う。早急に考え、取り掛からなくてはいけないが、次年度としたい。マップ作り、避難場所の選定などを行おうと思っているので、協力を頂きたい。 ・地域の避難場所は移動の手段が難しい。小学校の開放を考えている。 ・避難場所としての府中公民館の使い方など、今後、霧島市を交えての協議が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災に関して、一緒に取り組ませて頂く。